

西中だより

平成27年度 No.3
平成27年 5月 8日
須賀川市立西袋中学校
発行責任者 鶴巻 弘士

&&& 平成27年度西袋中学校PTA・体文本部役員決まる! &&&

- 4月20日(月)のPTA総会において、今年度のPTA役員が正式に決まりましたので、お知らせいたします。【敬称略】保護者の皆様のご協力とご支援をお願いします。

	父母と教師の会		体育文化後援会	
会長	名越 稔 晃	大 貴 (3-1)	松岡 孝	大 雅 (2-2)
副会長	矢吹 稔	瑠 奈 (2-1)	原田 優一	愛莉紗 (3-3)
	田中 道也	智 美 (2-1)	樽川 和広	みずき (2-2)
会計	小林 直美	利 瑞 (2-3)	佐久間 美加子	吉 成 (2-2)
	熊田 恒子	学 校	熊田 恒子	学 校
庶務	佐藤 篤志	佑 吾 (2-1)		
	笹木 義教	学 校	信樂 健二	学 校
会計 監査	宗像 美幸	前体文会長	倉田 恵美	前体文副会長
	熊田 智裕	過年度卒		



◆◆◆ 生徒会新聞「威風堂堂」No. 2を読んで感じたこと ◆◆◆

- 「威風堂々」とは、「人をおそれ従わせるような、重々しく立派なようす。」という意味です。生徒会役員は、そのような学校づくりを目指し、新聞の題名にしました。当然、生徒は登下校の途中や授業に向かう際には意識して取り組んでほしいと思います。一方、日頃指導にあたる先生もそれにふさわしい姿勢や言葉遣いや態度が求められていると私は感じました。
- 最初は、遠藤龍世生徒会長のあいさつ「中体連まで約1ヶ月となり、運動部の皆さんは部活動によりいっそう力が入っていることと思います。怪我に注意して、青春をenjoyしてください。」からはじまります。(私達の頃は、楽しむという気持ちが少し足りなかったかも知れません。)
- 続いて、「生徒総会について」では、当日話し合わせ内容と進行の予定が記載されています。面白いなと感じたのは「生徒会改革」です。5月から生徒会執行部が朝の7時55分から自転車点検を実施することです。安全を自分達で守るという意識の表れであると感じました。このような視点で、学校生活をよりよくしていこうと考えられるようになれば、生徒達にとっての中学校生活の3年間は、大いに意味のある楽しいものになると考えます。 ※ 皆さんも是非、生徒会新聞「威風堂堂」に目を通してください。 ※

《 校長のつぶやき 》・・・「やってみること(なせば成る)」「心にも栄養を」・・・

- 連休中様々な運動部で冠杯の大会が行われました。新年度がスタートして約1ヶ月が過ぎ、どの学校も新たなチームでスタートしたばかりです。試合中は様々な場面があります。野球では、塁上に味方がいた場合、アウトカウントや得点差等でバントかヒットエンドランかを瞬時に考えます。バレーボールでも、サーブで得点を取ったり取られたり、スパイクかと思ったら相手がフェイントで攻めてきたりと多様な場面があります。それらの状況を瞬時に捉えて判断し、行動に移すのですから生徒達は凄いものです。日頃の練習は、試合を想定し行っています。従って、指導者の思いやねらいと選手の受け止め方にズレがあると効果的な練習にはなりません。しかし、それについても以心伝心で行えるようになるまでにはある程度時間が必要だと思います。その間、選手は自分が思ったことに自信を持ってやってみることが大切だと思います。直ぐに上手いかななくても、繰り返し行えば必ず上手くなりますから。
- 帰りがけに生徒から「疲れた時にはリボタンDが利きますか?」と聞かれました。とっさに「そうだな、子供用の物もあるね。それよりレモンやオレンジのような柑橘類が疲労回復いいよ。」「もっといいのは、お風呂に入り、しっかりと寝ることだよ。」生徒達は、今が疲労のピークなのかも知れません。こんな時は、「お疲れ様」「遅くまでご苦労様」「疲れたでしょう。〇〇を準備しておいたよ」など心を癒す言葉掛けも大切です。疲れた心にも言葉で栄養を与えてやりたいものです。

